



平成 29 年 8 月 6 日 (日) 尾西生涯学習センターにて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」
「くすり教室：実験講座」を開催：一宮市薬剤師会との共同企画

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO) の協力の下に行っています。

一宮市薬剤師会会長 濱崎光哲先生、理事 原 明美先生、および一宮市教育委員会教育長 中野和雄先生のご尽力により、一宮市薬剤師会、一宮市教育委員会との共同企画として、平成 29 年 8 月 6 日 (日)、尾西生涯学習センターにて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容にて開催しました。午前中には名城大学薬学部 野田幸裕教授 (NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授 (同理事)、および本学部 5、6 年生 (3 名) が、一宮市薬剤師会の薬剤師 (29 名) に対して講義内容や実験手順の説明と実演を行いました。

当日は、小学生 102 名 (4 年生：48 名、5 年生：30 名、6 年生：24 名) が「くすり」について学び、いろいろなことを知れてとても楽しかったと大好評でした。

尾西生涯学習センターにおける「くすり教室」

日時：平成 29 年 8 月 6 日 (日) 14 時 00 分～16 時 00 分

場所：尾西生涯学習センター 6 階大ホール

内容：

・「実験を始める前のお話」：Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で小学生に答えてもらうような参加型形式で行いました。一宮市薬剤師会の川合綾子先生がスライドを使って、わかりやすく説明しました。小学生は元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

内容をより理解できるように小学生は、学年毎に 20 班 (1 班 4～6 名) に分かれ、一宮市薬剤師会の薬剤師および薬学生 (薬品作用学研究室 5 年生 5 名、病態解析学 I 6 年生 2 名、5 年生 2 名、4 年生 3 名、および衛生化学研究室 6 年生 1 名、5 年生 1 名) の補助・解説を受けながら体験実験を行いました。野田幸裕教授や間宮隆吉准教授は、各グループを巡回し、進行調整や助言を行いました。

<実験項目>

1. コップ 1 ぱいの水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ？
2. 水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる？
3. シロップの「くすり」とお茶と一緒に飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I
(柳本佳南、林 千裕、野田幸裕)・
薬品作用学 (間宮隆吉)・衛生化学
(加藤奈波、高木修平)
監修：NPO J-DO (鍋島俊隆)

